



公開研究大会

研究部主幹

2月13日（金）に「知的障害特別支援学校高等部の類型、教科等における自立活動のアプローチ」をテーマに全国から参加者をお迎えして、公開研究大会を実施しました。当日は、各類型による実践発表に加え（株）たすく代表 齊藤宇開氏による総評、横浜国立大学教授 渡部匡隆氏による基調講演を開催しました。公開研究大会は短縮授業として実施いたしましたが、保護者の皆様には、御理解と御協力を賜り誠にありがとうございました。

本校の自立活動に関する研究は、今年度で3年目を迎えます。自立活動は、障害のために学習態勢に入りにくい生徒が授業に参加し、学びを継続できるよう支援する、特別支援教育の中核となる重要な指導です。自立活動を充実させることは、生徒の生活と学びを支え、主体的に生きる力を育むことにつながります。

研究では、各学年、類型で1名（計8名）を対象生徒とし、まず丁寧な実態把握を行いました。外部専門員によるアセスメントの実施に加え、各教科における強みや課題について学年教員で意見交換を重ね、生徒の全体像を多面的に捉えました。その結果、生徒の強みを生かした指導が各教科で実践されるようになったことは、本研究の成果の一つです。

こうした実態把握を踏まえ、障害特性や成育歴を確認した上で、自立活動の6区分に沿って課題を整理し、目標及び指導内容を共有しました。指導内容は仮定として設定し、PDCAサイクルに基づき見直しを重ねながら研究を進めました。目標は、高等部3年間という限られた学校生活の中で達成可能であること、そして卒業後の生活に必要な力の育成という視点を大切に設定しました。学年全体で生徒の成長を共有しながら意見を出し合い、研究を自分事として深めることができたことは、本校にとって大きな財産となっています。

研究はまだ途上にありますが、今後も継続し、類型ごとの実践記録を蓄積しながらより多くの生徒に還元してまいります。

齊藤宇開氏の総評では、自己決定支援の重要性やAI時代に求められる人材像という視点から示唆に富むお話をいただきました。また、渡部匡隆氏の基調講演では、学習指導要領の解説や具体例な研究事例を交えながら、自立活動の効果的な指導方法について分かりやすく御講演いただきました。

参加者からのアンケートでは、「実践発表を日々の支援に活かしていきたい。」「講演を通して自立活動について深く学ぶことができた。」など、多くの前向きな御意見を頂戴いたしました。

今後も自立活動の視点に立った課題設定と支援方法の共有を進め、生徒一人一人が豊かな人生を歩むことができるよう支援してまいります。御家庭との連携を図ることで、指導の効果は更に高まります。引き続き、本校の教育活動への御理解、御協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

◆学校運営連絡協議会と学校評価

2月10日(火)、第3回学校運営連絡協議会を開催しました。一年間の学校運営に対する評価と来年度に向けての提言について、委員の皆様から御助言をいただきました。皆様からいただいた学校評価や校内評価、外部評価、生徒評価は、評価委員の提言を参考に令和8年度に活かせるようにします。学校評価アンケートの回収率は、保護者87.5%、生徒92%、進路先47%、教職員100%でした。御意見をありがとうございました。来年度も御協力お願いいたします。

◆進路指導部より

<地域別懇談会>

今年度から新たな取り組みとして、通学区域4市の地域別懇談会を実施しました。

居住市の福祉課の方と直接顔を合わせて話すことで、各市の障害福祉サービスの概要について理解が深まったという感想を多くいただきました。また、福祉課の方々も実際に特別支援学校に来るのは初めてという方が多く、生徒たちの様子を見たり挨拶を交わしたりする中で、学校の様子を知ってもらう機会にもなりました。来年度以降も継続して実施する予定ですので、是非御参加ください。

<先輩の話を聞く会>

1月30日(金)先輩の話を聞く会を実施しました。1年生は3年生の先輩から実習に向けて頑張ったことや、どのように進路先を絞ってきたかなどを質疑応答を交えながら話してもらいました。身近な存在である3年生から話を聞くことで、1年生もより自分事として考える機会になったようです。3年生も先輩として誇らしげに「講師」として一生懸命後輩たちに話してくれました。

2年生は、昨年度卒業した先輩から、現在の仕事、今の仕事に決めた理由、学生の時と違うこと、余暇の過ごし方、仕事でのやりがい、大変に感じる事などを伺い、福祉サービスを利用している卒業2年目の先輩からは、グループホームでの過ごし方や、仕事と余暇の話を行いました。

3年生は、卒業2年目の先輩からグループホーム、仕事、余暇の話を聞くとともに、20年ほど前に卒業した先輩からは、長く働き続ける秘訣、リフレッシュ方法、余暇の過ごし方、対人関係の保ち方などについてお話を伺いました。

◆新規事業所情報

就労継続支援B型事業所

事業所名：社会福祉法人 むさしの総喜会

TRYEEL (トライエール)

所在地：〒180-0022

武蔵野市境4-7-5

アクセス：武蔵境駅より徒歩9分

作業内容：封筒折込、紙袋づくりなど、落ち着いて取り組める軽作業

作業時間：10:00~16:00

令和8年1月開所

◆作業学習部より

<地域活動センターでの清掃>

1月22日(木)3年生ビジネスチャレンジ班(清掃)5名が、地域活動センターブルームで窓清掃を行いました。生徒たちにとっては外部で活動することがモチベーションとなったようで、意欲的に清掃活動に取り組むことができたようです。ブルームの方から感謝の言葉を掛けていただけたことも、生徒はとても嬉しかったようです。

<田無庁舎での販売>

1月29日(木)3年生クラフト班3名が、田無庁舎にてクラフト製品の販売を行いました。お客様からの製品の作り方や使い方について質問される場面もありましたが、丁寧に答えることができました。今回もたくさんの方が来てくださり、生徒たちも「良かった!」と喜んでいました。

<アスタ西東京での清掃活動>

2月18日(水)1年生清掃班と2年生ビジネスチャレンジ班(清掃)が、アスタ西東京での清掃活動を行いました。田無駅からアスタ西東京までの連絡通路や、建物周辺の道路や植え込みのごみ拾いを行いました。通りがかった方から、「お疲れ様」「ありがとね」と声を掛けられ、励みになったようです。1年生にとっては初めての校外での清掃活動で、よい経験となりました。

<まちテナ西東京での販売>

2月20日(金)2年生クラフト班が、まちテナ西東京でのクラフト製品販売を行いました。生徒たちの「田無特別支援学校クラフト班です。製品を販売しています。よろしくお願いします。」という元気な声に、多くの方が足を止め、製品を手に取り購入していただきました。

◆生活指導部より

- 規則正しい生活をしましょう。
- 適度な運動をしましょう。
- 家事を分担し、手伝いをしましょう。就労への大きな力になります。
- 事故・病気など生活上に大きな変化が起こった場合は、学校に連絡してください。

◆支援部より

学校生活支援シート（個別の教育支援計画）について

	令和7年度の 学校生活支援シート	令和8年度の 学校生活支援シート
【1、2年生】 	3月25日（水） 調査用紙（3月2日（月）に配布します）の御意見・御感想を基に、今年度の評価と引き継ぎ事項を記載した「学校生活支援シート」を返却します。	4月に令和8年度の「学校生活支援シート」（案）をお示しする予定です。 個別面談で内容を確認します（必要に応じて修正します）。
【3年生】 	3月19日（木） 「学校生活支援シート」を御返却します。	卒業後は、「学校生活支援シート」に替わり、移行支援会議で確認された「個別移行支援計画」に引き継がれます。進路先や支援機関へ提示していただき支援を受けられるように御活用ください。

※使用していた専用封筒は返却の必要はありません。

◆長距離走記録会

1月28日（水）に長距離走記録会がありました。今年度で2回目の向台運動場で3学年合同での実施です。日々の保健体育の授業で「長距離走記録会に向けて頑張ろう」と言いながら練習を重ねてきました。当日は寒かったものの、好天の中、学校とは違う広い場所で練習の成果を発揮しました。表彰状をもらって喜ぶ姿や、思うように走れなくて悔しそうにする姿も見られましたが、目標に向かって頑張って発表する良い経験ができたと思います。

◆球技部（バスケットボール） 「特体連バスケットボール大会」

2月4日（水）、5日（木）に「特体連バスケットボール大会」が京王アリーナ TOKYO で実施されました。本校の球技部からは、男子、女子、フレンドリーの3チームで出場しました。大きな会場で部員も緊張していましたが、本大会で勝つことを目標にチーム一丸となって練習してきた成果を発揮することができました。結果は、男子と女子チームが1勝、フレンドリーチームは接戦でしたが惜しくも敗れてしまい0勝でした。全試合が熱く盛り上がり、生徒も教員もプレーごとに一喜一憂していました。チームとして互いに応援する姿もあり、全員が試合を通して生き生きと自信をもってプレーすることができ、個人としてもチームとしてもそれぞれの成長を感じた大会でした。最後までバスケットボールをやりきる、戦い抜く、楽しむことができたことも良かったと思っています。温かい御声援ありがとうございました。引き続き、球技部をよろしく願いいたします